

令和元年度 事業報告

社会福祉法人馬場福社会

令和元年度事業報告

社会福祉法人 馬場福社会

Ⅰ 法人本部, 会務の運営

【監査の実施】

令和元年6月 監事による理事長職務執行状況及び会計監査実施

【金沢市実地指導・監査の実施】

令和元年8月 金沢市の実地指導・監査の実施(こども園対象)

【法人登記】

令和元年6月 理事長重任登記及び資産総額の変更登記終了

【東山苑の閉苑】

平成31年4月 馬場デイサービスセンター東山苑閉苑

令和元年11月 グリーンコート東山102へ介護事務所移転

令和元年12月 金沢市と東山苑の無償貸付契約終了, 土地・建物からの退去・引渡し完了

【馬場福社会(善隣館)中期計画】

令和元年9月 馬場福社会・事業中期計画(令和元年～令和5年)を市に提出

(注)平成31年3月の理事会及び評議員会です承済みの計画である。

【理事会の開催】

(1) 令和元年6月7日

第1号議案 平成30年度事業報告について

第2号議案 平成30年度決算報告について

第3号議案 平成30年度監査報告について

第4号議案 理事長職務執行状況報告について

第5号議案 定時評議員会の開催について

第6号議案 理事及び監事の候補者選任について

第7号議案 社会福祉法人現況届出について

第8号議案 その他

(1) 定款変更の猶予について

(2) 東山苑の自動車の取扱いについて

(3) ひがしやまこども園園則(兼運営規程)の改正について

(4) いこいの広場(善隣館活動)の開設について

(5) その他

(2) 令和元年6月21日

第1号議案 理事長の選任について

(3) 令和元年7月17日

第1号議案 東山苑土地・建物の無償貸付契約の継続について

第2号議案 東山苑の動力電源の取扱いについて

(4) 令和元年7月25日

第1号議案 介護拠点事務所の移転について

(5) 令和元年9月6日

第1号議案 ひがしやまこども園園則(兼運営規程)の変更について

第2号議案 ひがしやまこども園重要事項説明書の変更について

(6) 令和元年10月9日

第1号議案 グリーンコート東山102号の賃貸借契約について

第2号議案 移転期日について

第3号議案 移転に伴う費用について

第4号議案 移転に伴う備品等の取扱いについて

第5号議案 金沢市との折衝の経過について

第6号議案 その他

(7) 令和元年12月9日

第1号議案 理事長職務執行状況報告について

第2号議案 3事業所の運営規程の一部改正について(追加承認議案)

(1) ひがしやまこども園園則(兼運営規程)の一部改正について

(2) ヘルパーステーションひがしやま運営規程の一部改正について

(3) 東山居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について

第3号議案 令和2年の新年会について

(8) 令和2年3月16日(書面提案・同意方式)

第1号議案 令和2年度事業計画(案)について

第2号議案 令和2年度予算(案)について

第3号議案 ひがしやまこども園給与規程の改正について

第4号議案 馬場デイサービスセンター東山苑の資金移動について

【評議員会の開催】

(1) 令和元年6月21日

第1号議案 平成30年度事業報告について

第2号議案 平成30年度決算報告について

第3号議案 平成30年度監査報告について

第4号議案 理事及び監事の選任について

第5号議案 理事会からの報告

(1) 理事長職務執行状況報告について

(2) 社会福祉法人現況届出について

(3) 定款変更の猶予について

(4) 東山苑の自動車の取扱いについて

(5) ひがしやまこども園園則(兼運営規程)の改正について

(6) いこいの広場(善隣館活動)の開設について

第6号議案 その他

(1) 東山苑1階(東山苑跡)の利用について

(2) 令和元年8月8日

第1号議案 東山苑(土地・建物)の無償貸付契約の解消について

(3) 令和2年3月23日(書面提案・同意方式)

第1号議案 令和2年度事業計画(案)について

第2号議案 令和2年度予算(案)について

第3号議案 馬場デイサービスセンター東山苑の資金移動について

【評議員選任・解任委員会の開催】

開催なし

2 地域福祉事業(善隣館事業)

【介護拠点】

<わくわくタイム>

平成31年4月 カラオケと手作りおやつ(於:東山苑)

令和元年 6月 臨床美術・貝殻レリーフ(於:東山苑)

8月 いこいの広場・世代交流といこいの場(於:東山苑)

10月 相続のお話と唱歌を歌おう(於:東山苑)

12月 高砂一座芸能鑑賞(於:東山苑)

令和2年 2月 いつでもどこでも運動タイム(於:馬場公民館)

<地域福祉意識醸成事業>

令和2年10月 いいね金沢・街を福祉の輪がつなぐ(冊子)の配布

令和2年11月 馬場小学校4年生との交流(於:東山苑)

【保育拠点】

<地域ふれあい事業>

令和元年10月 お招き会(地域の高齢者と子供との交流 於:こども園)

令和元年11月 ごはんだ号が来た(食育事業 於:こども園)

【臨床美術作品展】

令和元年 6~7月 北國銀行金沢城北支店でのロビー展

わくわくタイムでの作品、こども園での子どもの作品展示

令和元年10月 馬場公民館ふくしまつりでの展示

わくわくタイムでの作品、こども園での子どもの作品展示

令和元年12月 北國銀行金沢城北支店でのロビー展

地域福祉意識醸成事業での高齢者と馬場小学校4年生の作品,こども園での子どもの作品展示

【金沢市善隣館協議会】

<代表者会議:本江理事長>

令和元年 5月 平成30年度事業報告等(於:KKR ホテル金沢)

令和2年 3月 令和2年度事業計画等(書面提案・同意方式)

<幹事会:志賀浦理事>

平成31年4月 平成30年度事業報告等(於:第一善隣館)

令和2年 2月 代表者会議議案等検討(於:第三善隣館)

<今後の善隣館活動のあり方に関する研究会:志賀浦理事>

平成31年4月 第11回研究会(事業スケジュール,モデル事業)

令和元年 7月 第12回研究会(善隣館中期計画策定について)

12月 第13回研究会(あり方研究会の最終報告について)

<善隣館いこいの広場:金沢市善隣館活性化研究委託事業:志賀浦理事>

平成31年4月 善隣館いこいの広場開催(小立野善隣館)

令和元年5月~7月 同上

8月 同上(馬場福祉会)

9月~12月 同上(小立野善隣館)

令和2年1月~2月 同上

以上

令和1年度事業報告

幼保連携型認定こども園 ひがしやまこども園

保育園の運営と活動

1、児童数(12か月の延べ人数)

0歳児＝58人 1歳児＝146人 2歳児＝188人 3歳未満児計＝392人
3歳児＝171人 4歳児＝189人 5歳児＝180人 3歳以上児計＝540人
途中入園は7名 途中転園は3名

2、行事の運営

別紙年間行事予定表のとおり

このうち、1年に1回のお茶会・お招き会については善隣館活動として、地域の高齢者を招待した
その他、食育推進活動として、金沢市の「ごはんだ号」を招待し、出汁の作り方等の指導を受けた

3、特別事業の実施

統合保育事業・延長保育事業・年末保育の特別保育のほか、一時預かり保育事業の実施

4、他の機関との連携

小学校・児童館・児童クラブ・東山苑・眉丈会・地域サロン・保健所・教育プラザ等との情報交換や交流

5、学生の受け入れ

近隣の小中学校・桜丘高校・の体験学習に協力

県立看護大・県立看護専門学校・歯科医療専門学校の実習生を受け入れ

6、研修会への参加

- ① 県・市の開催する研修、全保協・日保協・私立保育園連盟の研修、医師会との研修など
新任研修から所長研修、分野別研修(保健、防災、制作、音楽など)に全職員を派遣
- ② 国で定められた必須のキャリアアップ研修への参加
- ③ 幼稚園教諭免許の更新研修

7、職員の異動

平成31年3月31日付けで正規職員(橋本真里奈)が一身上の都合により退職

平成31年3月31日付けで正規職員2名(大石真愛・北村香奈)を採用

令和1年5月1日より浅野なぎさが産休・育休明けで復帰

令和1年6月24日より派遣職員1名(4時間勤務)を採用

(令和1年3月31日現在27名の職員が在籍)

2019年度実施行事

月・日	曜日	行事	月・日	曜日	行事
4月 5	金	入園、進級を祝う会	10月 3	木	芋ほり遠足(以上児) 遠足(ちゅうりっぷ・つくし)
5月 18	土	保育参観・懇談会 (つくし・ちゅうりっぷ)	5	土	運動会
31	金	親子バス遠足	17	木	お招き会(地域の方)
6月 6	木	健康診断(内科検診)	28~ 8		ひまわり組個人懇談会 (7日を除く)
12	水	保育参観、懇談会 (ひまわり)	11月 7	木	健康診断(内科検診)
13	木	保育参観、懇談会 (たんぽぽ)	14	木	歯科検診
14	金	保育参観、懇談会 (すみれ)	21	木	お茶会
20	木	歯科検診	12月 7	土	表現会
27	木	プラネタリウム見学 (ひまわり・たんぽぽ)	12	木	もちつき会
7月 4	木	観劇	1月 9	木	子ども新年会
19	金	夏まつり	2月 3	月	節分の集い
20	土	夏まつり	12	水	造形のひろば 2月17日朝まで
8月 24	土	おたのしみ会 (ひまわり)	14	金	お別れ遠足 (ひまわり・たんぽぽ)
9月 13	金	ふれあい会(敬老会) (園児の祖父母)	15	土	入所説明会
19	木	遠足	3月 12	木	お別れ会
			21	土	卒園を祝う会

平成31年度事業報告

社会福祉法人馬場福祉会

馬場デイサービスセンター東山苑

1. 事業の目的

社会福祉法人馬場福祉会（以下「法人」という。）が開設する馬場デイサービスセンター東山苑（以下「事業所」という。）が行う指定通所介護及び金沢市介護予防・日常生活支援総合事業（以下「事業」という。）における介護予防型（基準緩和型）通所サービスの適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の従業者（以下「従業者」という。）が、要介護状態及び要支援状態・事業対象者の状態にある高齢者に対し、適正な指定通所介護及び介護予防型（基準緩和型）通所サービスを提供することを目的とする。

2. 運営方針

指定通所介護の提供に当たっては、従業者は、要介護者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練の援助を行うことによって、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。

介護予防型（基準緩和型）通所サービスの提供に当たっては、従業者は、要支援者及び事業対象者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものとする。

事業の実施に当たっては、関係市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

平成31年4月30日をもって閉苑となる。

3. 事業の実施報告

①職員研修

組織の一員としての自覚を持ち、使命・目標達成に向けて主体的に取り組むことができる。また、専門職としての知識・技術・社会性・倫理を備え、利用者本位のサービスを提供できる職員を育成する。次の通り、実施・参加する。

施設内研修内容	実施日
文書等の保管・管理、守秘義務の周知	4/10 実施

②ボランティア活動の受入れ

馬場校下社会福祉協議会のボランティアの受け入れを実施した。

慰問ボランティアの受け入れを実施した。(4/20(土)「みやこわすれ」来訪新舞踊披露)

③平成31年度年間行事の実施

	行事内容
4月	お花見ドライブ
4月の行事 外出行事 お誕生会 臨床美術 作品作り 折り紙教室 おやつ作り 施設長と歌おう 慰問ボランティア来訪	

令和2年3月13日

平成31年(令和1年)度 ヘルパーステーションひがしやま事業報告

1. 業績報告

・概要

平成31年度、業績は昨年比でほぼ横ばいであった。

・事業報告

事業報告(別紙1)を参照

2. デイサービス(東山苑)が閉鎖したことの影響

・デイサービス(東山苑)が平成31年4月末で閉鎖した。その後の推移をみると、デイサービス(東山苑)の閉苑による当事業所への影響はないと思われる。

3. 利益率の対する今後の方策 →令和2年度事業計画参照

- ① 新規利用者(要介護者)の獲得
- ② ケアマネジャーへの営業活動
- ③ 自費サービスの拡大

以上

平成31年度 ヘルパーステーションひがしやま 事業報告

計画内容	実績	備考
1 提供サービスの質の向上		
①特定事業所加算Ⅱを取得し、10%の利益向上とサービスの質の向上に努める。	特定事業所加算を取得することはできた。しかし、加算対象の「要介護」の利用者人数が減っている。「要介護」利用者増加の努力と共に、違う形で利益の向上が必要。	達成・次年度も継続
②新規利用者獲得のため、管理者が毎月の実績を各ケアマネジャーに直接届け、利用希望者の紹介を依頼する。	実績の持参については毎月実施することが出来た。その結果、包括からは定期的に仕事が来るようになった。しかし、その他の居宅事業所からの仕事の中々来ない。更なる営業が必要。	達成・次年度も継続
③ヘルパー会議において、訪問介護計画書の内容を担当ヘルパーに周知することで、利用者の「目標」を明確にし、利用者へのより良いサービス提供と、自立支援に繋げる。	訪問介護計画書の見方もかなりヘルパーに浸透してきた。訪問中、各利用者の「目標」に目が行くような手段を考える必要あり。	達成・次年度も継続
④利用者別会議の年間計画に基づき、ヘルパー間で利用者の特性や各種情報等を共有していくことで、チームアプローチによる均一な援助体系を確立し、利用者の自立支援に繋げる。	問題が多い利用者に会議が集中してしまった。仕方ないことではあるが、計画に出来るだけ忠実に行う配慮が必要。	達成・次年度も継続
⑤前年度実施できなかったアンケート調査を実施し、その結果を経営改善プロセスに反映し、利用者の更なる獲得に努める(8月予定)。	毎日の業務に追われ、中々実施が出来ない。担当と作成時期を決めて実行してはどうか。	継続
2 業務の簡素化		
①文書保存をルール化する為、「文書保管簿」の作成に努める。	作成できなかった。	継続
3 人材の育成と職員研修		
①内部外部研修会への参加を積極的に促し、職員の資質及び技術の向上を図る。外部研修に関しては参加者が報告書を作成し、周知する。	職員ごとに研修計画を作成したが、計画通りに行かなかった(参加者の参加報告書の作成と周知に関しては、出来ている)。 「研修をシフトに入れることが難しい。」「外部研修の開催が少ない。」という問題をどのようにクリアするかが課題。	継続
②職員全員分の研修計画を作成し、計画に沿って円滑に研修が行えるように、毎月の勤務を組み立てる。		
4 三事業所連携への取り組み		
①一年間の研修の一部分を、二事業所合同で行い、介護保険のサービスの質の向上に努める。	計画通り、合同研修がしっかり実行できた。	達成・次年度も継続
②善隣館事業である「わくわくタイム」を今年度も二事業所合同で行い、地域と共に繁栄する事業所を目指す(今年度は4,6,8,10,11,12,2月に開催予定)。	12月までは東山苑の建物で実施。2月は公民館に向き実施した。	達成・次年度も継続
③東山居宅介護支援事業所が開催予定の「ひがしやまカフェ」へ参加し、利用者の共通理解に努めていく。	毎月のヘルパー会議で開催日を周知。常勤職員は毎回参加できた(毎月第2木曜日)。一部ヘルパーも参加した。ヘルパー会議での参加呼びかけを継続。	達成・次年度も継続

令和元年度 事業報告

指定居宅介護支援事業所
社会福祉法人 馬場福祉会
東山居宅介護支援事業所
石川県金沢市東山3丁目25-3
グリーンコート東山102

1. 基本理念

思いやりの心を大切に。

今日も一日、心豊かに過ごされることを目指します。

2. 目的

要介護状態又は要支援状態にある高齢者に適正な指定居宅介護支援を提供する。事業の実施に当たっては、利用者の心身の状況や、置かれている環境等に応じて、その利用者が可能な限り居宅において、自己の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の立場に立った「公平・中立」な支援を行う。

3. 定員

(1) 利用者（1か月あたり）

計画人員100名（介護給付・予防給付含）

→令和元年度の実績が、ケアマネジャー2名で、月平均 介護51名 予防42名
合計93名（介護報酬算定では、予防21名になり、計画算定は、月平均72件であった。）

(2) 職員

施設長 1名（常勤兼務）

管理者 1名（介護支援専門員兼務）

介護支援専門員 2名以上（常勤兼務1名、常勤もしくは非常勤専任1名以上）

4. 運営計画

(1) 概要(事業内容)

- ① 介護支援専門員は、利用者の居宅を訪問し、利用者及びその家族への面接を行い、意見や要望を聴取するとともに、支援する上で解決しなければならない課題の把握や分析を行い、利用者や家族の理解、同意に基づく居宅介護計画を作成する。この計画に基づき、当該地域の指定居宅サービス事業者に対し計画内容等の情報を提供し、利用者の居宅サービスの選択を求め、同意を得た上で、サービス事業を実施した。（新規利用者 介護22名、支援27名、終了者 介護27名、支援15名）
- ② 利用者が小規模多機能居宅介護利用や、介護保険施設への入所を希望した場合は、小規模多機能居宅介護利用や、介護保険施設への紹介、その他便宜を提供した。（施設入所者 8名）
- ③ 課題分析について使用する分析票は、主として居宅サービス計画ガイドライン方

式とした。

- ④ 介護支援専門員は、居宅サービス計画の作成後においても利用者及びその家族、居宅サービス事業者等との連絡を継続的に行い、居宅サービス計画の実施状況を把握する。また、利用者や家族へは、月1回以上（状況の変化が著しい場合は適宜）の訪問を実施しその要望把握を行い、居宅サービスの変更やサービス事業者との連絡調整その他の便宜の提供を行った。
- ⑤ 介護支援専門員は、利用者一人ひとりについて、主治医や関係機関との連携を密にし、継続的フォローアップを行った。（入退院時連携25件、入院中、その後逝去10名。在宅でお看取りをした4名。）
- ⑥ 介護支援専門員は、その家族に対しサービス提供に関しての疑義が生じることのないよう十分な説明を行うとともに、適宜の相談に対応した。
- ⑦ 金沢市などの委託を受け認定調査を実施し提出書類の作成を行った（65件）。
- ⑧ 独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校3年生在宅看護論臨地実習受け入れを行い、6グループ2名ずつ12名受け入れた。
- ⑨ 主任ケアマネジャーとして、研鑽を積み、地域全体のケアマネジメント力を高めるために、他事業所と協力し、ひがしやまカフェを月に1回程度運営した。地域包括と連携をとり、地域ケア会議等開催に協力した。当事業所が関わった地域ケア会議は、1件。
- ⑩ 善隣館事業わくわくタイム等の運営に協力した。

（2）業務日及び時間

① 業務日

月曜日から土曜日。ただし、祝日及び12月31日から1月3日までを除く。

② 業務時間

午前8時30分～午後5時15分

（担当職員が不在の場合はヘルパーステーション職員及び事務職員が対応する。時間外において電話対応を行う。）

（3）業務の適正化について

① 会議

常勤会議：月1回（ヘルパー部門と合同）

連絡会議：月1回（ヘルパー部門と合同）

事業所内会議：月1回以上

事業所内事例検討会：月1回以上

② 研修

「年間施設内研修計画」を策定し職場内研修を実施するとともに、各種研修会への派遣等積極的取り組みを推進する。

③ 職員の健康管理

併設ヘルパー部門に準じ、年1回、健康診断を受診する。